

【第3報（最終報）】E1A 新名神高速道路 セーフティーカー労務員転倒事故**【発生日時】** 2025年5月20日（火）5:10頃**【発生場所】** E1A 新名神高速道路 亀山基地**【工事件名】** 2025年度 東名阪自動車道 ■■■管内維持修繕業務**【受注者名】** 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)**【概要】**

新名神集中工事に伴うセーフティーカー運行業務に従事するため、通勤で駐車場から基地内の詰所へ向かう際、歩行中にグレーチング蓋上でつまづき転倒したものの、

顔面を強打し、病院で受診。結果「右眉付近の切傷（7針縫合）・右肩打撲」と診断された。

【被害状況】 人的被害：あり 右肩腱板断裂・顔面挫滅創・左膝打撲、裂傷の診断結果を受ける
（全治1か月） ■■■

物的被害：なし

【時系列】

5/20（火）

5：10頃 事故発生

5：20頃 応急処置を終え、安静にして様子を確認

7：30頃 患部の状態が安定していたため、セーフティーカー運行業務（助手）開始

8：00頃 基地連絡員より●●事務所へ報告

（転倒したが、業務に支障が無いとの連絡）

16：10頃 容体が変化（右眉部の腫れ）したため、■■■の●●外科へ
診察に向かう19：40頃 診察、治療終了 {右眉付近切傷（7針縫合）、右肩打撲}
翌日5月21日（水）に切傷部の再診察

20：00頃 ●●からメンテ名古屋へ報告

20：30頃 メンテ名古屋から■■■保全へ報告

5/21（水）

8：00頃 緊急安全大会を実施

12：00頃 右肩レントゲン検査終了（翌日MRI撮影を行う）
骨折の疑いがないことを確認

5/22（木）

右肩のMRI撮影を行う。翌日、結果が判明する

5/23（金）

14：00頃 再度受診し、右肩腱板断裂・顔面挫滅創・左膝打撲、裂傷の診断結果を
受ける（全治1か月）**【報道等】** なし

【事象発生箇所 航空写真】



【事象発生イメージ写真】

【転倒前(両手に荷物有)】

【転倒後(右眉切傷・右肩打撲)】



【転倒箇所のグレーチング蓋上の写真】



グレーチングを点検したものの、
設置不良(がたつき・極端な段差など)
が確認されない状況

【緊急安全大会】

5月21日(水) 8:00 参加者 63名(日中の作業班 全班)

5月21日(水) 9:30 参加者 27名(新名神集中工事セーフティーカー従事者)

- ・発生した事故の概要説明
- ・転倒災害に対するの対策説明
- ・敷地内で危険箇所がある場合、報告の徹底を依頼。
- ・業務中は保護帽着用の周知の徹底(今回の事象時は着用済)
- ・怪我の程度に関わらず「メンテに速やかに状況報告を行うこと」を周知徹底

【原因】

グレーチングを点検したものの、設置不良(がたつき・極端な段差など)が確認されない状況であり、場内照明もあり足元が見えにくい状況ではないこと、また、降雨もなく特段滑りやすい状況ではなかったことから、高齢(70歳)が要因で小さな段差・格子に足をとられて転倒した事象と考えられる。

【対策】

- ・グレーチングなど足を躓かせる危険のある箇所をなるべく避けて移動することを徹底する。
- ・やむを得ず通過する場合は足元に注意して歩行する。
- ・高齢(65歳以上)の場合は、身体能力の低下を考慮し段差等に気を付ける。

【その他】

事故発生から報告まで時間を要したことへの改善として、怪我の程度や個人の判断によらず、事故発生後は早急に報告するように関係者へ指導した。